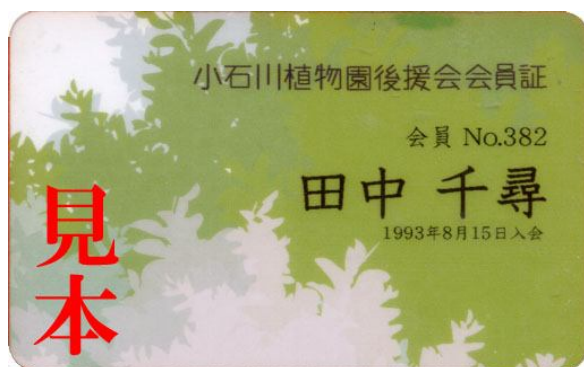


「春の小石川植物園(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

東京はサクラが満開になった。この土日は天気も良かったので、お花見に出かけた人も多かったにちがいない。私も久しぶりに小石川植物園にサクラを見に行ってきた。

小石川植物園は「東京大学大学院理学系研究科附属植物 Botanical Gardens, Graduate School of Science, the University of Tokyo」というのが正式名称だ。植物学や分類学の研究の為に施設ということだ。しかし、大学職員や東大学生以外の人でも、入園料を支払えば、自由に園内を散策できる。入園料は大人400円だ。



しかし私は「フリーパス」である。後援会に入会しているからだ。かつて植物園のすぐそばに住んでいた時に入会した。この後援会は、入会金のみで年会費というものがない。これで本人を含めて4人まで何度でも入園できる。会員証には1993年入会とあるので、すでに25年間、私は入園料を払ったことがない。何だか、申し訳ないような気がする。



(絵; C.Tanaka 2ページ目に拡大画像)

茗荷谷方面から植物園に行くには、この播磨坂を下

る。小石川5丁目と4丁目の境にあるこの坂道は、本来「環状3号線」の一部になるはずだった。しかし計画は中断し、現在は美しい桜並木になっている。



サクラ満開のニュースで、園内は賑わっていた。春休みに入って最初の週末なので、家族連れの入園者が多く、賑やかで楽しい雰囲気だった。



武蔵野台地の段丘崖の坂を上りきると、植物園の研究棟の前に出る。その脇に、見事なソメイヨシノの古木がある。ここでさっそく花見ができる。



ソメイヨシノは、枝に多くの花をつけるが、このように幹から直接花が咲くこともある。一体どういう仕組みで花芽ができるのか、本当に不思議だ。

